



## パラオから、こんにちは(^~)

厚南中学校のみなさん、こんにちは。夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりましたね。夏休みを利用して心身をリフレッシュさせたり、2学期に向けてパワーを蓄えたりできましたか？

先生は、この夏休みの間に日本から約3000km南にあるパラオという国に旅立ちました！パラオまではグアムで飛行機を乗り継ぎ、5時間ほど。地図で見て分かるように、日本とパラオはほぼ同じ経度にあるので時差はありません。ただ、緯度は日本よりも低く赤道に近いので、とっても暑いです。今年は日本の夏も暑い日々が続いていたようですが、パラオではそれが1年中続きます。1年を通して、25℃~35℃の日々です。それに加えて、紫外線は日本の7~8倍とされています。美白をキープしたかった先生も、4週間ほどで

とんと日焼けをしてしまいました…(笑)  
紫外線に加えて、厄介なのが雨。パラオではほぼ毎日雨が降ります。スコールのように突然降ってくることもよくあります。気候は北海道と比べると大きく違って、慣れるのに苦戦しています。

通信のタイトルの「Alii (アリー)」はパラオ語で「こんにちは」「やあ」という挨拶を表します。パラオ語はとても難しいですが面白い言語なので、今度また詳しく紹介したいと思います！



### 【パラオ日記】

- ★7月24日、日本の成田空港を出発！4時間ほどでグアム空港に到着し、パラオ行の飛行機に乗り換えて、いざパラオへ！…と思ったら、航空会社の従業員が揃わないということで、フライトがキャンセルに。結局グアムに1泊し、次の日の朝の便でパラオへ行くことになりました。
- ★パラオは暑い国なので、もちろんアシが出る…そう、G！パラオのホテルで人生初Gに遭遇しました。しかも、パラオのGはでかい！…泣きそうでした。
- ★ホテル滞在後、一人暮らしのアパートに入居。シャワーからお湯が出ない…。なので、毎日水シャワーを浴びています。雨水を貯めてシャワーにしている地域も。シャワーからお湯が出ることは当たり前ではないのだと実感しました。

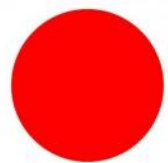
## Let's think together!

下の写真は、先生がパラオに来て見つけたものです。スーパーでは日本のお菓子や食品がたくさん売っているし、テレビを付けると日本の番組が見られます。名前を聞くと「マモル」「キヨシ」「サキ」など日本人の名前をもつパラオ人もいます。

日本にいるのか？と錯覚しそうなほど色んなところで日本のものを目にします。さあ、それはなぜなのでしょう。







# パラオと日本の関係



住んでみて改めて気づかされますが、パラオはとても親日な国です。街を歩いていると、現地の方から「こんにちは」とよく話しかけられたり、日本人だと言うと、とても喜ばれます。なぜなのか、実は歴史的な事柄と関係があるようです。

第一次世界大戦後、日本はパラオを含む南洋諸島を統治していました。南洋諸島には数万人の日本人が生活し、農業や漁業などを営んでいたそうです。当時の日本政府は、パラオに学校や病院を設立するなど、インフラ整備（生活や産業の基盤となる公共施設を整え、充実させること）を進めました。それに加えて、日本語の教育や日本語による歴史・地理・理科の学習を行うなど、現地での文化統制を行いました。そのため、今でもNHKが日本語で流れていたり、パラオの高校では日本語の授業が行なわれていたり、日本語の名前をもつ人が多くいたり、様々なところで日本を感じられます。現在でも日本政府からの援助があり、各学校に手洗い場が設置されたり（写真左下）、20年前にはパラオのコロール島とバベルダオブ島を結ぶ橋がかけられました（写真右下2枚）。この橋は『日本・パラオ友好の橋（Japan-Palau Friendship Bridge）』と名づけられています。

## Palauan? Japanese?

そんな歴史の名残から、パラオ語には多くの日本語が使われています。次の単語は実際のパラオ語です。どんな意味か予想してみてください！答えは次号で！

1. アタマグルグル
2. ツカレナオス
3. アイコテショ

